

開講科目名 / Course	人のこころの仕組み
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
開講区分 / semester offered	前期
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	1
主担当教員 / Main Instructor	吉村 匠平
担当教員名 / Instructor	吉村 匠平
必修・選択 / compulsory subject	必修
講義形態 / Class Type	講義
科目の目的と概要	<p>人が外の世界を認識する仕組み、外の世界との相互作用を通じて、自分自身や他者の行動パターンが変化していく仕組みについて学ぶ。可能な限り、受講者自身が簡単な実験の被験者となり、自分のデータをもとに学習を進めていく機会を提供する。</p> <p>講義は、時間外課題として課されるレポートを作成する情報を収集する「時間、空間」として位置づける。参加した、楽しただけに終わらないように、授業中にメモを残すなど、各自が時間外に行う要約課題の作成を意識しながら、工夫して講義に参加することが求められる。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 提示された課題に対し、自分なりの答えを出す。</li> <li>2. 自分の答えをもとに、周囲の学習者と課題の解決に向けて話し合う。</li> <li>3. 講義内容に基づき、日常生活の諸事象を解釈し、他の学習者が理解できるように表現する。</li> <li>4. 自分自身の学習の進捗状況を把握したうえで、適切な学習行動をとる。</li> <li>5. 自分で学習に関する目標を設定する。</li> <li>6. 講義内容を100文字程度で要約する。</li> </ol>
DPとの対応	2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3.心豊かな人間性と倫理観、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>01. 外の世界の認識(1)：みるとはどのような活動なのか？</li> <li>02. 外の世界の認識(2)：きくとはどのような活動なのか？</li> <li>03. 外の世界の認識(3)：記憶の仕組み、はたらきについて</li> <li>04. 外の世界の認識(4)：非合理的な問題解決者としてのヒト</li> <li>05. 外の世界の認識(5)：スキーマによる問題解決</li> <li>06. 学習の基礎理論(1)：古典的(レスポナント)条件付けの基本原則</li> <li>07. 学習の基礎理論(2)：古典的(レスポナント)条件付けによる諸現象の理解</li> <li>08. 学習の基礎理論(3)：道具的(オペラント)条件付けの基本原則(自発的行動)</li> <li>09. 学習の基礎理論(4)：道具的(オペラント)条件付け(強化と弱化的基本原則)</li> <li>10. 応用行動分析による行動の理解</li> </ol>
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、授業開始時に自分でくじを引き、座席を決める。</li> <li>・隣に座った人と協同して学習課題に取り組み、話し合う。</li> <li>・挙手による発言行動が強化されるよう、学習環境を調整する。</li> <li>・毎時、講義通信を発行する。</li> <li>・毎時、講義終了後に行う時間外課題を課す。</li> <li>・各自の学習状況が確認できるよう、累積平常得点を確認できるようにする。</li> </ul>
時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時、講義終了後に、講義内容の要約をメインとしたショートレポートを課す。</li> <li>・毎時、web上に提出任意の課題を出す。</li> <li>・事前に視聴する動画(5分前後)を指定し、講義冒頭で理解状況を確認するための小テストを実施する。</li> </ul>
評価方法と評価割合	<p>期末の試験は実施しない。事前課題の小テスト(3点/回)、講義内容の要約課題(4点/回)、授業を受けてのコメント(2点/回)、授業での発表、時間外学習課題の得点を10回分集計して評価する。なお、講義を欠席したものは、その回に課された全ての課題を提出することができない。単位認定の方法について、初回にプリントを配布し説明するので、出席すること。10回目の講義終了時点で、合計得点が合格ラインに達しなかった場合のみ、再試験を実施する。</p>
テキスト	<p>毎時、ハンドアウトを配布する。ハンドアウトに加えて、講義通信、自分が作成したレポート、webに投稿された他学生のレポートを参照することで、講義内容の理解が深まるように自分なりの講義ポートフォリオを作成することを推奨する。</p>
参考書	基礎から学ぶ認知心理学-- 人間の認識の不思議 (有斐閣ストウディア)
履修する上で必要な要件	
その他	<p>世の中に出ると、色々な人と係るスキルが求められます。付き合う相手を選び好みできるのは、学生の間までです。今から、少しずつで良いので慣れていきましょう。幸い、人には環境に順化するという素晴らしい能力があります。</p> <p>遠隔での講義には、素晴らしいポテンシャルが秘められています。対面講義を全て遠隔に置き換えることはできませんが、遠隔講義で学ぶスキルもぜひ身につけて欲しいと思います。</p>
教員の実務経験	有・無 有

	内容	吉村匠平：幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校における教育相談
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	小学校教諭、臨床心理士
実務経験をいかした教育内容	<p>学校で頻繁に観察される事象を例にとりながら、課題を構成したり、例示を行う。例えば、不登校を、弱化のメカニズムで説明するなど。学校での当たり前が、心理学の知見から解釈すると必ずしも合理的とはいえない例なども併せて紹介する。</p>	